

平成22年 ローソクボッケ分布量調査結果速報（2）

北海道立総合研究機構稚内水産試験場調査研究部 電話：0162-32-7166

- 稚内水試では試験調査船北洋丸により、2003年以降、毎年9～11月に稚内ノース場（811，812，813漁区）で着底トロールによるローソクボッケ（0歳魚）の分布量調査を行っています（図1）。この調査の目的は、新しく資源として加わる0歳魚の資源豊度を早期に評価し、資源の将来予測に役立てることです。調査では各漁区で原則2回の曳網を行い、その漁獲量から評価しています。2010年11月12日および16日に第3次ローソクボッケ分布量調査を実施しましたので、その概況を報告します。
- 図2に2006年から2010年までに稚内ノース場で採集されたホッケの体長組成を示しました。体長約23～24cm以下がローソクボッケです。ローソクボッケの出現は早い年では9月から見られますが、今年は曳網1マイル当たりのローソクボッケの平均漁獲量（kg/N.M.）が9月は5.1，10月は0.1と低く、来遊の遅れによるものと考えられました。11月の調査ではローソクボッケの出現がみられましたが、平均漁獲量は6.8と11月の調査を開始した2006年以降では最も低い値でした。また、その年に行った全曳網中で平均漁獲量が高かった上位3曳網の平均値も、19.1と2004年に次いで2番目に低い値でした（表1）。これらのことから、2010年級の資源豊度は2009年級に続いて低い可能性も十分に考えられ、今後の資源動向に十分な注意が必要と考えます。
- なお、11月の海底付近（62～116m）の平均水温は4.7 と例年（7.3～10.6）に比べて3～6 低く、低水温が漁場への来遊に影響している可能性も考えられることから、今後は各種漁業における漁獲状況や水温の状況に注視しながら調査を継続したいと思います。

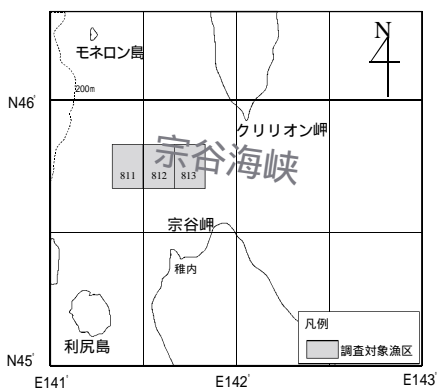


図1. 調査海域

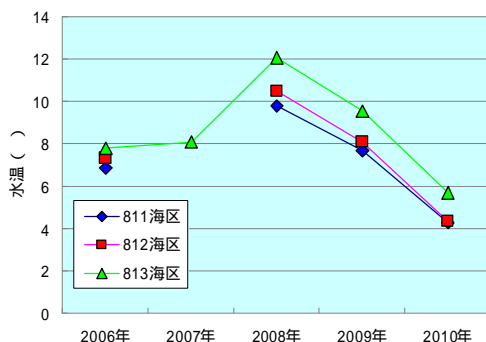
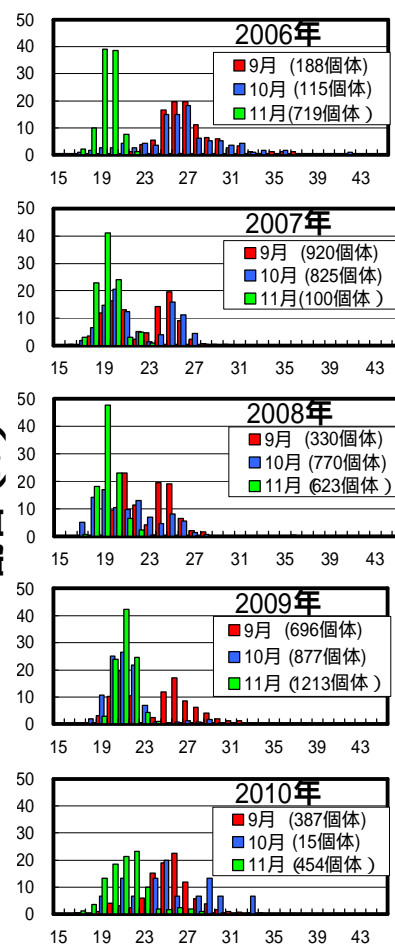


図3. 11月の底層水温



個数 (%)

体長 (cm)

図2. 採集されたホッケの体長

表1 着底トロール1マイル当たりの0歳魚の平均漁獲量 (kg/N.M)

調査年	9月	10月	11月	上位3曳網の平均
2003年	71.0	147.7	調査未実施	274.9
2004年	1.6	22.8	調査未実施	9.5
2005年	114.2	185.9	調査未実施	454.1
2006年	0	0.1	312.6	568.3
2007年	23.6	213.6	121.5	446.4
2008年	19.9	18.4	794.9	808.6
2009年	75.3	107.6	218.4	441.4
2010年	5.1	0.1	6.8	19.1